

第35回 独立行政法人国立印刷局契約監視委員会（審議概要）

開催日及び場所	令和4年6月20日（月） 国立印刷局本局大会議室
出席委員	<p>委員長 栗田 誠（白鷗大学法学部教授） 委員 黒川 行治（千葉商科大学会計大学院 会計ファイナンス研究科教授） 委員 村瀬 均（岡崎村瀬法律事務所弁護士） 委員 古東 誠（独立行政法人国立印刷局監事） 委員 福島 晃（独立行政法人国立印刷局監事）</p>
審議対象	<p>1 令和3年度下半期契約の点検 令和3年度下半期に契約締結した案件のうち、新規の競争性のない随意契約（6件）及び2か年度連続して応札者又は応募者が1者しかない契約（57件）（全63件） なお、審議方法については以下のとおり。 （1）全63件の中から、個別に審議する契約案件を委員長が7件選定 （2）選定された案件を1件ごとに審議（類似案件は一括して審議） （3）選定されなかった案件については、本委員会の個別点検項目に沿って点検を実施した内容について審議 ※個別に審議した7件は別紙1のとおり。</p> <p>2 令和3年度独立行政法人国立印刷局調達等合理化計画の自己評価及び推進状況のフォローアップ</p> <p>3 令和4年度独立行政法人国立印刷局調達等合理化計画の策定について</p>
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙2のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし

個別に審議した契約案件（7件）	
【新規の競争性のない随意契約案件】	
	「新日本銀行券用原材料 インキ用原材料G」
	「新日本銀行券用原材料 インキ用原材料H」
	「新日本銀行券用原材料 インキ用原材料I」
	「新日本銀行券用原材料 OI-15S 外5件」
	「新日本銀行券用原材料 A-3エラー」
	「新日本銀行券用原材料 フジファストレッド7R3300」
【2か年度連続一者応札・応募案件】	
	「統合業務システム関連ハードウェア及びミドルウェア保守」

意見・質問	回 答
1 令和3年度下半期契約の点検	
<p>「新日本銀行券用原材料」</p> <p>○ 日本銀行券の製造工程において、環境配慮の観点から再利用（リサイクル）を行っているものはあるのか。</p>	<p>○ 白紙及び印刷断裁工程での用紙断裁屑については、製紙の原材料として再利用（リサイクル）を行っている。</p>
<p>「統合業務システム関連ハードウェア及びミドルウェア保守」</p> <p>○ 予定価格について、業者の見積価格を採用する場合、どのように妥当性があると判断しているのか。</p>	<p>○ 仕様書に記載されている項目ごとに、金額の確認を行っている。</p>
2 令和3年度独立行政法人国立印刷局調達等合理化計画の自己評価及び推進状況のフォローアップ	
<p>○ 不祥事発生未然防止の研修については、どのような者が講師を務めているのか。</p>	<p>○ 当法人の本局契約部門の者が講師を務め、各機関の契約担当職員を対象に研修を実施した。</p>
3 令和4年度独立行政法人国立印刷局調達等合理化計画の策定について	
<p>○ 共同調達についての実績と、今後の見通しについてはどのように考えているのか。</p>	<p>○ 令和3年度については、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構と防災用品を共同調達している。なお、今後については、対象品目の拡大を検討したいと考えている。</p>